

1200万署名・NPT代表派遣 News

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03 5842 6031 FAX：03 5842 6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年1月6日 No.23 NPTまであと117日

新春
6・9
行動

核兵器のない平和で希望ある時代へ

全労連、全日本民医連、日本平和委員会など代表 36 人が参加

今年5月3日からニューヨークの国連本部で開幕する核不拡散条約(NPT)再検討会議に1200万筆の「核兵器のない世界を」署名を届けようと日本原水協は6日、東京原水協などと新年最初の6・9行動を上野公園で行いました。

「原爆と人間」展パネルを並べ、交代でマイクを握り、署名を呼びかけると家族連れや観光客などたくさんの方が足を止めて署名しました。

「こういう写真はなかなか見ることができない」と話すニューヨーク在住の日本人女性(31)は、署名した後で「周りの人に伝えたい」と熱心にパネルの写真を撮っていました。また、ニューヨーク行動にも参加したいと話していました。

青年たちが「大きなうた」や「翼をください」、「折り鶴」などのうたごえを響かせた行動には全労連、全日本民医連、日本平和委員会、日本宗平協、婦人民主クラブ、全教、国公労連、日本のうたごえなどの加盟中央団体を含む36人が参加し、217筆の署名と1万1904円の募金が寄せられました。



署名を訴える佐藤光雄日本平和委員会代表理事(1月6日・上野)

NPT 代表の高校生インタビュー記事が徳島新聞 (Web 版) に掲載



『徳島新聞』Web版は1月6日付で徳島県原水協の代表として5月のNPT要請団に参加する徳島北高校1年の濱悠峻(ゆうり)さん(16)のインタビューを掲載しました。

新日本婦人の会県本部の会員として活動する母節子さん(絵画教室経営)が、平和をテーマに創作活動をしていることもあり、幼いころから平和運動に関心があった濱さんは、昨年の原水爆禁止世界大会に参加して「わたしたちは今動かなくて、いつ動くのか」というある高校生の一言が心に響いたといいます。

「自分なりの活動を続けていくことが大切なんだ」。そう心に誓った濱さんは、大会に参加した高校生や海外の人たちとインターネットで意見を交わすように。節子さんも娘の心の変化を感じ、原水爆禁止県協議会が参加者を募っていたNPTニューヨーク行動への参加を勧めました。

神野美昭事務局長(73)は「戦争体験者が少なくなる中、次世代にいかにつづけるかが重要。濱さんにはこの機会に多くを学び、反戦反核の思想を広めてほしい」と期待しています。



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/g-news/>
携帯電話からもアクセスできます。

NPT代表団参加予定者ふくめ昨年比倍の人数で宣伝 山梨

8万筆の署名目標達成をめざしている山梨県原水協は3日、甲府市の武田神社でNPTにむけて核兵器廃絶の署名を集める新春行動を行いました。

昨年4月のオバマ米大統領演説以降の世界の動きを反映してか関心が高く、約1時間で101筆の署名と1170円の募金が寄せられました。

行動にはNPT代表団参加予定者や加盟団体、地域原水協の参加者のほか、昨年の倍である10人が参加しました。

恒例の神社前での元旦署名行動 大分

大分県原水協と大分市原水協は1日、恒例となっている元旦署名行動を、午前11時から大分市の春日神社入口で行いました。

次々と初詣に訪れる参拝客が「朝早くからご苦労様です。核兵器は早くなくしたいですね」「ニューヨークに持って行くんですか、大変ですね」「頑張ってください」など会話しながら、足を止めて署名していきました。

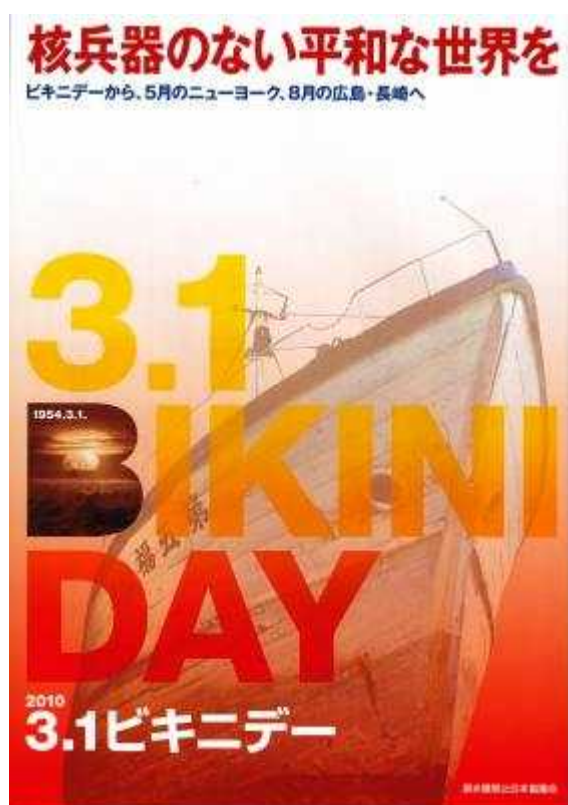
34年つづく元旦署名行動 鳥取

鳥取県原水協は1日、降りしきる雪の中、1977年から34年つづく元旦署名行動を行いました。

積雪30センチの中、伊谷周一県原水協理事長ら5人が「あなたの署名をニューヨークへ」のカラーチラシと折鶴を初詣客に配りました。伊藤幾子鳥取市議は中学3年の娘さん、小学6年の息子さんと一緒に参加しました。



NPT代表団参加者必読



3・1ビキニデーパンフ発行

**全県85万署名目標達成めざして全力
あげることを確認 埼玉**

埼玉県原水協は昨年12月8日の常任理事会と16日の署名推進事務局団体会議で「核兵器のない世界を」署名の全県85万目標を達成するために、加盟各団体とすべての地域原水協が推進体制を確立してとりくみを強めることを確認しました。

首長など自治体署名を知らせ、地域ぐるみの運動にすること、目標と推進体制を明確にして励まし合いながら進めること、団体・労組は全構成員と家族を対象に署名をすすめること、世界大会参加者などに働きかけ、地やレンジャーを組織することなどをよびかけています。

1月15日には、学習・署名経験交流、ニューヨーク要請団の壮行・決起集会を計画しています。

